

種名と配列に関わる解説等（海綿動物門）

○目録の解説

海綿動物門においては、科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入した。また、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。

学名や分類体系は Ise (2017) およびインターネット上のデータベースである World Porifera database (Van Soest *et al.*, 2019) に概ね準拠した。

岡山県野生生物目録 2009 でのこの門の種数合計は 17 であった。今回の改訂で 7 種が新規追加され、現時点の種数合計は 24 となった。新規追加種は岡山大学玉野臨海実験所 (1975, 1978) の記録および検討会委員・協力員の確認記録および情報収集によった。

海綿動物門の目録作成は協力員の多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター）が中心となっており、本解説は多留聖典・田中正敦（鹿児島大学大学院理工学研究科）が作成した。目録作成にあたっては検討会委員の阪田睦子、福田 宏の他、元検討会委員の益田芳樹（川崎医療福祉大学総合教育センター）の協力を得た。

○主な参考文献

- Ise, Y., 2017. Taxonomic review of Japanese sponges (Porifera). In Motokawa, M. & Kajihara, H. (Eds), *Species Diversity of Animals in Japan*, 343–382. Springer Japan, Tokyo.
- 著者不詳, 1975. 岡山大学玉野臨海実験所. In 菊池泰二（編）, *臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究（昭和 49 年度科学研究費総合研究 B 研究成果）*, 59–63. 全国臨海臨湖実験所長会議, 福岡.
- 岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議（編）, *臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究（昭和 50–52 年度文部省科学研究費補助金総合研究 A 研究成果報告）*, 158–170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 福岡.
- Van Soest, R.W.M., Boury-Esnault, N., Hooper, J.N.A., Rützler, K., de Voogd, N.J., Alvarez, B., Hajdu, E., Pisera, A.B., Manconi, R., Schönberg, C., Klautau, M., Picton, B., Kelly, M., Vacelet, J., Dohrmann, M., Díaz, M.-C., Cárdenas, P., Carballo, J.L., Ríos, P. & Downey, R. 2019. *World Porifera Database*. <http://www.marinespecies.org/porifera> (2019 年 2 月 14 日閲覧)